

牛久：学校周辺に見る自然

第14号 みずべ公園

2016年9月3日発行

＜ 夏の終わりに、みずべ公園を歩く ～ ① 植物 ＞

皆さん、こんにちは。夏休みは、いかがでしたか？じゅうぶんに楽しめましたか？「あまり…」という人は、来年の楽しみが一つ増えたと思いませんか。と、自分にも言い聞かせています。

さて、また学校が始まりました。先日1日に、ひたち野うしく小の夏休み明け初仕事の後、久しぶり



にみずべ公園を歩きました。4年生はたぶん、どこの小学校でも「夏の終わりの生きもの」観察の時期ですね？まだ暑いので、校庭でしょうか？四季を通して、児童の皆さんと観察して歩いたころがなつかしいです。

みずべ公園では、まだまだ暑いといっても木や草の実に少しずつ秋が近づいているのを感じました。

クリはまだイガも緑ですが、ずいぶん大きくなりました。

まだイガも緑だが、ずいぶん大きくなったクリ。



実の赤と種子の黒のコントラストが美しいゴンズイ。

ゴンズイは、花は淡い黄緑色で目立ちませんが、実はまっ赤でよく目立ちますね。1つの花から1～3個の果実ができて、それぞれに1、2個の黒く光沢のある種子が入っています。きれいですね。この色にだまされて、鳥はかたくて食べる部分のない種子を運んでくれるようです。



クサギはもう花が終わりに近づいていました。春にはひたち野うしく小4年生の皆さんに、葉の臭いをかいでもらいましたね。とても変な臭いでした。でも花の香りはユリの花に似ているとよく言われ、とてもさわやかな甘い香りです。蜜を求めてよくハチの仲間やアゲハの仲間、そしてスズメガの仲間がやってきますが、残念ながらこの日は見あたりませんでした。

葉と違い、花はユリに似た甘い香りを漂わせるクサギ。



コブシの実も、うっすら赤くなりました。中にはもう割れて、赤い種子をのぞかせているものもありました。この種子をそっと引っぱると、白い糸がのびてぶら下がります。まるで鳥を誘っているかのように。それにしても変な形。花は中心にたくさんの雌しべがあつて、受精できたものだけがふくらんで集まり実になるのでこんなゴツゴツした形になるようです。

赤く色づき始めたコブシの実。



コムラサキシキブも、紫に色づきはじめました。これもきれいですね。 **紫に色づき始めたコムラサキ。**



シラカシの三つ子のどんぐり。

最後に、シラカシのどんぐり。以前、双子のどんぐりを紹介しましたが、この日は三つ子のどんぐりを見つけました。一つのおわん(穀斗)の中に、3つの実が入って

います。皆さんも探してみませんか？おもしろいのを見つけたら、教えて下さいね。【理科支援員：宮内】